

しまかぜ

笠岡諸島NEWS

第 257 号

2023.5.1

笠岡諸島情報
ネットワーク会議



6島のスケジュール

3・4・5日(水・木・金)	走り神輿(真鍋)	14日(日)	飛島大運動会(飛島)
4日(木)	神社祭典(高島)	20日(土)	グラウンドゴルフ大会(北木西)
10日(水)	開龍寺春季大祭(白石)	30日(火)	救急艇説明会(北木西)

北木西

さようならとこんにちは



3月31日(金)、人事異動に伴い島を離れる北木小学校の先生たちの離任式が行われました。「蛍の光」が流れる中、紙テープを手にフェリーへと乗り込んでいく先生たち。新たな赴任先は、井原市から海外まで多岐にわたります。◆とりわけ別れを惜しまれたのが、三宅校長。在任中はその幅広いネットワークと行動力を活かし、映画「ふるさとがえり」上映(監督の林弘樹さんも島に招待)・天野和彦福島大学特任教授による防災講話・クラシック楽団の招聘など、地域住民の役に立ったり楽しませたりする企画を次々と成立させてくださいました。北木西公民館からも、改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。新任地でもお達者で!

ここ数年の間は休園となっていた北木西幼稚園ですが、この4月より再開の運びとなりました。◆式典には「チューリップ」や「むすんでひらいて」といった歌や手遊びも盛り込まれましたが、保護者・先生・来賓と、多くの大人たちが見守る中で入園式に臨んだ新入生さんは、何だか緊張気味の様子。それでも記念写真を撮るころにはカメラに笑顔に向け、周囲の参列者を喜ばせていました。◆園長先生からの祝辞、「いつもニコニコ笑顔でいてください。あなたがニコニコしていると、周りのみんなもニコニコ笑顔になります」に、さっそく応えてくれた新入生さん。これからも楽しい幼稚園生活を送ってください(^) 改めまして、入園おめでとうございます。

港の空をおよぐ鯉のぼり達 白石



今年も白石島の港に、たくさんの鯉のぼりが悠々と泳いでいます。男の子の成長を祝う幟や鯉のぼりがたくさん立っていた時期もありました。今ではあまり見られなくなった頃、島の有志で作るグループの方たちが仕舞われていた鯉のぼり達に息を吹き込んで泳がせてくれています。連休に島を訪れる方や、帰省される方を出迎えてくれています。

飛島



観音参り

4月8日(土)に観音参りをしました。島民とフリースクール育海(はぐくみ)の子どもたちが一緒に、島中を巡りました。うらかな春の陽気の中、久しぶりにたくさん歩いた子どももいたみたいです。一つ一つ観音様の服が違うことに気が付いた子どもが、「かわいいお地蔵さんの服、だれが縫っているんですか?」というかわいい質問に、「気に留めてくれて嬉しい。」と返す島民との和やかなやりとりがあったそうです。今年も、暖かく見守ってくださる飛島の皆様と育海(はぐくみ)の子どもたちの生活が始まりました。

桜の植樹



北木

4月14日(金)、大浦の三角公園に5本・開発総合センター(北木島出張所)前に12本の桜が植樹されました。この桜は奥野武久様(右端のお写真)からの寄贈によるもので、大島桜という種類の塩害に強い桜だそうです。根をしっかりと張らせる為に葉の部分の少し落として植樹をしているので現在は少し寂しい印象ですが、来年には綺麗な花を咲かせてくれるのかなと思います。1年後の春が楽しみです!! 奥野様、本当にありがとうございました。



六島の花まつり



花まつりの【餅まき】を3年ぶりに行いました。今回から前浦・湛江地区合同で準備することになりました。準備は前日の7日でお寺に両方の地区の方が集まります。男性陣は準備全般と片付け、女性陣はお餅を丸めます。携わる男性陣は毎回大活躍で、感謝の気持ちで一杯です。当日お寺で【おつとめ】の後、お餅・お菓子・硬貨を2階から投げます。それが体に当たり痛い思いもしますが、賑やかで楽しい花まつりになりました。そして、恒例の行事が出来ることを嬉しく感じた一日でした。

春らんまん 真鍋島



朝方は寒さを感じたものの、日中は汗ばむ程の陽気となった4月10日(月)、城山展望台へ上がる手前にある「城山の小径」を訪れました。案内板など全て手作りで、可愛らしいチロリアンランプが絡まる鮮やかなアーチをくぐると、梶原さんご夫妻が育てる色とりどりの花が咲き誇っていました。ちょうど作業をされていて、鶯のさえずりが大きく響き渡り、桜の花びらがはらはらと舞い落ちる中を案内いただきました。種類はネモフィラ・アイリス・レンギョウ・イキシア・ラベンダー・マーガレット・コブシ etc.元々、お父さまの荒山さんが100本ぐらい桜を植え、後を引き継いだそうです。お土産に、これもお手製の素敵なストラップをプレゼントいただきました。



4月1日(土)「高島まるごと春祭り」が開催されました。計画を立てから開催日迄の準備期間は短く不安ではありましたが、参加された方に島の魅力・文化を伝える事が出来ました。島自慢の色鮮やかに咲いている山つつじを見ながらお大師巡り、最短・最長コースに別れ名所めぐりが始まりました。昨年「お大師巡り」に参加された方からご利益が有ったよ・と嬉しい言葉や、気持ちのこもった、賽銭入りのさんや袋・よだれかけ・お守りなども頂きました。島民、市役所職員さんを含め、多くの方々の協力に感謝し、次世代に島の文化を継承して行けたらと思います。